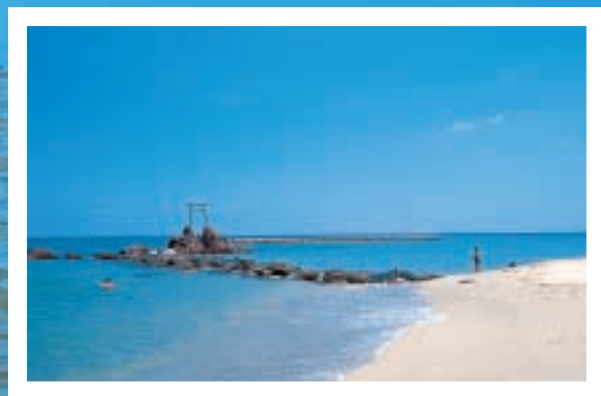






目次

湯梨浜町誕生 4

まちづくり計画

～21世紀、夢がふくらみ一人ひとりが輝くまちづくり～ 6

- 温かさと活力を新しい色に乗せて 8
- 豊かな自然が暮らしに色を添える 10
- 波の一つひとつに色がある 12
- 先人の築いた歴史が黄金色に輝く 14

湯梨浜町イラストマップ 16

行政機構図 18



湯梨浜町 誕生

鳥取県中部、東郷湖の周囲に位置する羽合町・泊村・東郷町の3町村。これらのまちは地理的・歴史的に結びつきが強く、経済・文化・教育・生活など、さまざまな面で住民同士の交流がさかんで、従来から一体的な地域圏を形成してきました。

地方分権の進展に伴い、自治体は自らの責任と判断で行政サービスを決定し、実現していくことが求められるようになってきました。また、少子高齢化の傾向に伴い、行政需要も増大し、きめ細かな行政サービスが必要となってきました。そこで、地域の一体的なまちづくりと行政サービスの向上を実現するため、合併という住民のための行政改革を検討しました。

3町村では、平成13年4月から合併について研究が重ねられ、住民アンケートの実施などを経て、同年10月に「東郷湖周地域合併協議会」を設置。平成14年12月には、新町の名前が「湯梨浜」に決定。平成15年12月に3町村議会で合併議案を可決し、平成16年10月1日に、新しいまち、湯梨浜町が誕生しました。

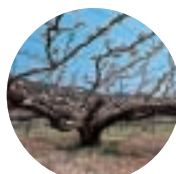


泊村

大正7年（1918）、久津賀村・三橋村・泊村の3力村が合併して誕生。日本海に面し、古くから漁港として開けたところで、近世には鳥取藩の船番所も置かれ、因幡と伯耆を結ぶ街道の宿場町として栄えました。産業は県中部有数の漁港、泊漁港を拠点とする沿岸漁業と梨やスイカなどの農業が中心。グラウンドゴルフの発祥地としても知られています。



●つわぶきの花



●梨の木



●泊村役場

湯梨浜町

人口……………17,981人
(平成16年7月31日現在 住民基本台帳人口)

面積……………77.94km²
(平成15年 全国都道府県市区町村別面積調)

位置

平成16年、羽合町・泊村・東郷町の3町村が合併して誕生。鳥取県のほぼ中央に位置し、北は日本海に面し、西は北条町と倉吉市、南は三朝町、東は青谷町と接しています。



●合併協定調印式

●黒松



●あじさいの花



●羽合町役場

昭和28年(1953)、長瀬村・浅津村・橋津村・宇野村の4力村が合併して誕生。北は日本海、南東部は東郷湖に面し、東郷湖畔と海岸部には、はわい温泉や東郷湖羽合臨海公園などがあり、「日本のハワイ」をキャッチフレーズに県内外から多くの観光・レジャー客を集めています。長瀬高浜遺跡や橋津の藩倉など、全国的にも貴重な歴史資産を数多く有しています。



●東郷湖

●梨の木



●梨の花



●東郷町役場

昭和28年(1953)、東郷松崎町・舎人村・花見村の1町2力村が合併して誕生。東郷湖南東部に広がる風光明媚なまちで、湖畔には東郷温泉があります。まちの南東部の丘陵一帯は鳥取県特産、二十世紀梨の県下有数の産地となっています。近年、国内最大の本格的な中国庭園や新しい温泉保養施設が整備され、観光と梨のまちとして発展を続けてきました。



まちづくり計画

合併によりパワーアップしたまちの力を活かし、
21世紀にふさわしい個性と活力を兼ね備えた一体感あるまちを目指します。

**安心して快適に
暮らせるまちづくり**
(生活者重視のまち)



21世紀、夢がふくらみ一人ひとりが輝くまちづくり

**心はずみ
住んでみたくなる
魅力あるまちづくり**
(定住を促進するまち)



**活気に満ち人と人が
ふれあうまちづくり**
(交流がさかんなまち)



若者たちが元気 いっぱいに育つまち

安心して、明るくたくましい子どもや若者たちを、家族の絆を大切にしながら、社会全体で育てることができ、環境を整えるとともに、一人ひとりがいきいきと輝き、尊重され、活気に満ちたまちを実現します。そのために、まず、乳幼児期の子どもを育てる世代が、生きがいを持ちながら子育てできるように、子育て支援機能を充実します。また、幼少年期から青年期を通して、若者たちが異年齢で交流を進めながら共に活動し、個々の存在を大切にすることを心がけます。さらに、特色ある教育環境を充実し、伝統的な歴史、文化を大切にしながら、地域に愛着と誇りが持てる若者を育てます。こうした取り組みを通して、それぞれの年齢期にふさわしい社会的自覚を喚起し、若者たちが国際的視野をもって大志をいただき、進んで新しい社会を創造できる環境をつくり出します。



●総合学習

だれもがITを 利用できるまち

自然豊かな鳥取県に住み、ゆとりのある環境の中で充実した生活をする事ができるよう鳥取情報ハイウェイに接続したブロードバンドの情報インフラを整備します。電子自治体の構築で行政手続きの迅速化、情報受発信とIT化を図り、住民の利便性の向上と、行政の簡素・効率化を進めます。福祉・医療・教育分野のサービスにおいても、全国とのネットワークを通じて、より専門性の高い水準を目指します。また、CATVについても情報ハイウェイを利用した多チャンネル化を図るとともに、格安インターネット事業も開始します。



●インターネット学習



●若者育成事業

さまざまな産業が 育つまち

地域特性を活かした個性豊かな産業の振興を目指します。東郷湖周の環境の向上に努めながら、温泉と歴史・文化と自然を核とした観光、二十世紀梨をはじめとした特産物に代表される果物王国を目指す農業、東郷湖のしじみや日本海の豊富な海産物等の漁業振興を促進します。ＩＴ関連産業をはじめ、情報化を駆使した商工業を振興し、若者の就業環境や定住環境の整備を促進します。一般国道9号青谷・羽合道路のインターチェンジを2箇所持つ中部地区の玄関としての機能を特化させ、さまざまな産業が育つまちとするため、アクセス道路網等の整備をします。また、サービスエリアを活用し、地産地消の拠点とするともに、観光情報を全国へ向けて発信します。さらに、各産業で魅力ある職場を創出し、若者の定着や人材を育成し、後継者の確保を図ります。

環境に配慮した やさしいまち

海山、川、湖の自然があふれ、住む人来る人にゆとりと安らぎを提供できるまちを実現します。東郷湖羽合臨海公園を県民の憩いの場として拡充するとともに、メダカが生息し、水鳥の渡る貴重な自然環境を保全し、自然エネルギーを取り入れた環境にやさしいまちを創出します。また、環境ISOの認証取得や、ゴミの減量化、リサイクル化、水質浄化などの取り組みを進め、町民と共に考え行動する運動を展開します。



●メダカ池



●保育所児童が保健福祉センターを訪問

地域ぐるみで取り組む 福祉のまち

お年寄りや障害のある人などを地域全体で支え、すべての人にやさしいまちを目指し、だれもが不自由なく歩くことができ、就学や社会参加の道が拓かれたバリアフリーのまちを実現します。また、地域医療が充実し、いつまでも健康でいきがいの持てる社会を構築するとともに、地域の中で共に支え合う仕組みや防災体制を整え、だれもが安心して安全に暮らし、快適に過ごせる地域社会、福祉のまちを創出します。

住民一人ひとりが 参画し、協調してつくる 活力あるまち

生涯にわたり各人の能力を最大限に発揮できるようなまちとするため、行政と町民が協力して、積極的にまちづくりを実施できるような仕組みを整えます。情報公開制度を拡充し、初期の段階から町民の意見が反映され、町民が参画するまちを実現します。公民館を核とした地域ごとの行政窓口となる職員を配置するなど、より地域に密着した町民の意見やニーズを的確に把握するとともに、ISOの認証の取得で良いサービスを提供する行政体を目指します。



●ハワイ郡との交流

はわい温泉

東郷湖の湖上に浮かぶようにたたずむ温泉郷で、その昔は東郷湖に船を浮かべて湖中からわき出る温泉を利用したとか。のんびりと湯にひたりながら、四季折々に美しい湖畔の風景を楽しめば、日ごろの疲れやストレスもいっぺんに解消。泉質は含石膏弱食塩泉で、リウマチや皮膚病などに効能があります。



中国庭園 燕趙園 えん ちよう えん

鳥取県と中国河北省の友好の証として、平成7年に建設された総面積1万㎡の中国庭園。建設資材もすべて中国から取り寄せ、中国人技術者の手によって作られた本格的庭園で、「皇家園林方式」と呼ばれる造り。中国庭園としては国内最大。園内には中華レストランやボタン園もあります。

湯梨浜町は、海・山・川・湖の恵まれた自然と、四季それぞれの美しさ・温かい人情に出会えるまちです。まちの今後の地域振興を考える上で、鍵を握っているのが観光産業の一層の振興です。国内最大の中国庭園や温泉保養施設など、心も体もリフレッシュできる総合レクリエーションエリアとして、その魅力がますます高まっています。二十世紀型をはじめとする特産の果物や、泊漁港に水揚げされる日本海の新鮮な魚介類など、食べる楽しみが充実していることも、まちの大きな魅力です。楽しいイベントや祭りも積極的に開催し、「見る・食べる・遊ぶ・安らぐ・集う」多様な楽しみがそろった観光のまちづくりに取り組んでいます。



いちご

湯梨浜町の基幹産業は農業。このまちで生産される農産物の中には「とよのかいちご」メロンの「クレオパトラ」、ぶどうの「ピオーネ」など、県下一の生産量を誇るものがあります。

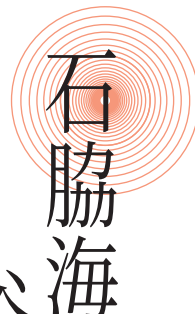
その一つが色鮮やかで香りも豊かな「とよのかいちご」。ケーキや洋生菓子に欠かせない果物として、クリスマスに照準を合わせて、毎年11月中旬ころから出荷が始まり、翌年の5月ころまで市場に出回ります。



たいりょうばた

大漁旗をひるがえしながら、港に帰ってくる漁船群。古くから漁業で栄えた泊地区らしい光景です。船ごとに趣向を凝らした大漁旗は、新しく船ができたとき、そのお祝いと大漁を願って、造船業者や魚市場、船主の親戚・知人らが贈るのが慣わしです。

この大漁旗はひな祭りや夏祭り、秋祭りなどの折りにも掲げられる海の歳時記。泊夏祭りでは、色とりどりの大漁旗やのぼり旗をいっぱい飾りつけた漁船団の「海上御幸」が最大の呼び物となっています。



石脇海水浴場

いしわきかいすいよくじょう

石脇地区にある「日本の水浴場88選」にも選ばれた遠浅の水浴場。踏めばクックツと音がする、鳴り砂のビーチとしても知られ、シーズンには家族連れやグループでにぎわいます。

ビーチに隣接する閑静な松林の中には石脇キャンプ場が整備されており、朝から晩まで自然の中で過ごしたいアウトドア派には絶対のおすすめ。初夏から秋にかけて、潮騒と星空のデュエットが楽しめます。



ハワイゆ~たうん

はわい温泉の一角に平成5年にオープンした温泉施設で、ガラス窓の天井ごしに大空を眺めながら入浴できるのが売り。昼はさんさんと太陽の光をあびて、夜は満天の星空を見上げながらの入浴は格別です。



ゆアスシ東郷龍鳳閣

東郷温泉の湯を使った多目的温泉保養施設で燕趙園に隣接。東郷湖を一望する露天風呂をはじめ、10種類の浴槽と3種類のサウナ、トレーニングルームなどを備えた、水着で利用できるスパリゾートです。



道の駅 はわい

平成15年8月、山陰道青谷・羽合道路(国道9号)にオープン。レストランやコンビニ、まちの特産品直売所などが入り、観光客やドライバーのオアシスとして利用されています。



二十世紀梨

甘い果汁をたっぷりと蓄えたみずみずしい二十世紀梨は、古く明治時代から生産が始まった鳥取県を代表する果物です。中でも湯梨浜町の二十世紀梨は気候や風土に恵まれ、農家が栽培技術の向上や病害虫の克服に努めたため、生産量、味とも日本一と賞賛されています。



グラウンドゴルフ

グラウンドゴルフは昭和57年(1982)に、国の生涯スポーツ活動推進事業の一環として、旧泊村教育委員会が中心となって考案された競技。どこでも楽しみ、ルールも簡単。運動量も適度とあって、だれでも手軽に楽しめるスポーツとして、全国で100万人を超える愛好者がいるといわれます。

町内のあちこちに広がる梨の果樹園。まちの特産、二十世紀梨はこの地の気候や風土の象徴です。春には白い花を枝いっぱいにつけ、秋には甘い果汁を蓄えた実をたわわに実らせ、この地に住む人々の暮らしと一体となった景観を作り出しています。

初秋には、澄んだ空気のなか、のんびりと梨狩りが楽しめる観光農園もオープン。9月の連休などには、自然を満喫しようと、山陽や京阪神方面などからやってくる大勢の観光客でにぎわいます。

また、子どもからお年寄りまで楽しめる手軽なスポーツとして知られるグラウンドゴルフも、ここ湯梨浜町で考案され、全国に普及したものの。発祥の地、泊地区には、グラウンドゴルフのふる里公園「潮風の丘とまり」があり、各種大会も開催されています。

緑豊かなまちの野山は、私たちにさまざまな恵みや楽しみを与えてくれる人に優しい自然なのです。

トウジユロ の並木

とつじゅろのなみぎ

これまで、日本のハワイをキーワードに観光の町をPRしてきた旧羽合町。ハワイにあやかった地域おこしが本格化したのは、昭和53年（1978）に、それまでの浅津温泉を羽合（現在：はわい）温泉に改名したことが契機。現在、はわい温泉に通じる主要道路沿いには、ヤシ科の木「トウジユロ」が500本以上も植えられ、南国ムードを盛り上げていますが、これもそんなイメージ戦略の一環として整備されたものです。



梨の花

なしのはな

山々を白く染める梨の花は湯梨浜町の春の風物詩。純白で小さい可憐な花です。見ごろは4月上旬から中旬にかけて。桜が終わったところが目安です。咲いている時期が1〜2週間と短いため、満開の梨の花が見られる期間はそう長くありません。花が満開になると、忙しくなるのが梨の栽培農家。家族や親戚総出で、授粉作業を行う姿が見られます。

今滝

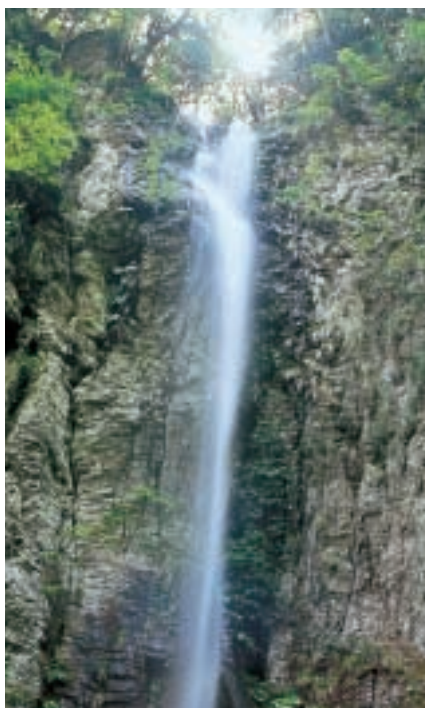
いまふき

湯梨浜町と黄谷町との境にそびえる鉢伏山（標高約514m）を水源とする高さ約44mの滝。駐車場から歩道を200mばかり行くと、三方を安山岩の絶壁に囲まれた一角から、白い布

を垂らしたように落下する豪快な姿に圧倒されます。滝の近くには不動明王と竜神が祀られ、古くから地元

の信仰を集めていました。遊歩道が整備されており、家族でゆっくり森林浴を楽しむにはうってつけ。毎年7月15日に滝開きが行われます。

毎年7月15日に滝開きが行われます。



野花豊後（大梅）

湯梨浜町は県下有数の梅の産地。代表的な品種「野花豊後」は県下の8割を生産しているほどです。果肉が厚く、梅酒など加工用に最適で、6月上旬から取り引きされています。



クレオパトラメロン

果皮がなめらかで、色鮮やかな黄色の大玉メロン。メロンの女王といわれる気品と甘さが身上です。湯梨浜町の特産で今や県の名産にもなっています。市場に出回るのは6月から7月にかけてです。



不動滝

漆原川の上流にある高さ約32mの二段滝。古来より信仰と修行の場として栄えたところで、近くには不動明王が祀られています。毎年7月7日が滝開き。周辺にはキャンプ場も整備されています。

泊夏祭り

毎年7月下旬に行われる泊地区最大のイベントで、見ものは大花火大会と勇壮な海上御幸。中でも、海の安全と大漁を祈願して行われる勇壮な海上御幸はこの地区ならではの必見の行事。派手な大漁旗やのぼり旗をつけた満艦飾の漁船団が海を行く姿は泊の真夏の風物詩となっています。

ハワイ海水浴場

「パスポートなしで行けるニッポンのハワイ」のキャッチフレーズを持つ日本海に面したビーチで、カラフルなビーチパラソルの花が咲く夏はもう南国ムード一色。毎年数万人がハワイ海水浴場と隣接する宇野海水浴場を訪れ、海水浴や、サーフィン、ジェットスキーなどのマリンスポーツを楽しんでいます。

波の一つひとつに色がある

美しい東郷湖と日本海に代表される豊かな水に恵まれた湯梨浜町。水は産業や暮らしに欠かせないだけでなく、レジャーやスポーツ、レクリエーションの場として、私たちに楽しみや安らぎを与えてくれます。

夏の海水浴やマリンスポーツ、釣りをはじめとして、大勢の人々を引きつけるまちの水辺。東郷湖畔と海岸沿いにかけての二帯は「東郷湖羽合臨海公園」として、さまざまなスポーツ・レクリエーション施設が総合的に整備され、思い思いにスポーツや散策を楽しむファミリーや若者でにぎわっています。

また、ここ湯梨浜町の水辺は、一年を通じて繰り広げられる多彩なイベントや祭りの会場としてもおなじみ。参加し、体験し、ともに楽しむことを通じて、1万8,000人の町民がふれあい、一体感を高める場として、そして町外や都会からまちにやってきた人々との交流の場として、大きな役割を果たしています。

風力発電

ふうりょくはつてん

日本海沿岸は風力発電には格好の条件を備えたところ。平成14年11月、鳥取県では第1号にあたる本格的な風力発電機が、グラウンドゴルフのふる里公園「潮風の丘とまり」で稼動を開始しました。燃料が不要で空気を汚さない、地球に優しい新エネルギーとして注目されている風力発電。まちのシンボルとして、地域おこしの原動力“となっています。

東郷湖

羽合臨海公園

とうきょううみはわいりんかいこうえん

東郷湖畔と海岸沿いにかけて広がるスポーツやレクリエーションに最適なウォーターフロント。あやめ池スポーツセンター、ハワイ夢広場を「スポーツゾーン」、ショウブ、アヤメ、フジが美しいあやめ池公園、多目的広場などを「憩いのゾーン」、中国庭園燕趙園を「観光ゾーン」とし、四季折々の湖をそれぞれのスタイルで楽しむことができます。



ドラゴンカヌー

大会

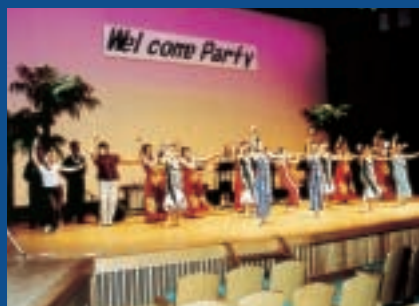
とうきょうかんかぬーたいかい

楽しいイベントが目白押し夏の東郷湖畔。中でも、毎年8月上旬に開催されるドラゴンカヌー大会は呼び物の一つです。龍を形どった全長10mのカヌーを10名一組のクルーが一体となって操り、タイムを競う湖上のレースには、毎年、県内外から多数のチームが参加。水しぶきをあげる熱戦が繰り広げられます。



後島

釣りの好ポイントが多い泊地区でも、人気のスポットがここ後島海岸。釣れる魚で、主なものは、クロダイ（春から夏）、アイナメ（初夏）、アジ、メジナ（夏）、スズキ（秋）、カサゴ（通年）などです。



ハワイアンフェスティバル

ハワイ郡と姉妹都市提携を結んでいた旧羽合町からつづくイベント。全国のフラダンス愛好者による発表会やハワイアンコンサートなどがハワイアロハホールで開催されます。



水郷祭

毎年7月19～21日に開催される東郷湖の夏を彩るイベント。県無形民俗文化財の浪人踊や神輿渡御、灯ろう流しなどの催しが続き、夜空と湖面を彩る湖上大花火でその熱気は最高潮に達します。



埴輪

長瀬高浜遺跡からは、家形埴輪、甲冑形埴輪、盾形埴輪など、おびただしい数の埴輪が出土。それぞれがほとんど完全な形に復元され、全国から埴輪が出土するたびに比較研究される資料となっています。



銅経筒

金銅観音菩薩立像と同じく「伯耆一宮経塚」より出土。経筒の表面に刻まれた銘文から、康和5年(1103)のものとなります。



金銅観音菩薩立像

伯耆一ノ宮として尊崇を集める倭文(しとり)神社境内に隣接した「伯耆一宮経塚」から出土した菩薩像。表面に金メッキが施された高さ22cmの金銅製で、白鳳期(奈良時代前期)の傑作です。

全国に誇る湯梨浜町の歴史と文化。この地で発見された遺跡や出土品には、学術的にも一級の価値を持つものが少なくありません。

時代の古いものとしては、鳥取県を代表する古代遺跡として知られる長瀬高浜遺跡がその筆頭格。砂丘下の巨大複合遺跡“といわれるこの遺跡からは古墳時代を中心とする古代のムラの暮らしをうかがわせる膨大な数の遺構や出土品が発見されています。

また、伯耆一ノ宮、倭文神社にある伯耆一宮経塚から出土した金銅仏や銅経筒などは、鳥取県では数少ない国宝の指定を受けた文化財です。

さらに、江戸時代に目を向けても、鳥取藩の米の積み出し港として栄えた橋津には、当時の米蔵や町家が現存するなど、この地を舞台として展開された、さまざまな歴史のドラマが、今もまちのあちこちで息づいています。

長瀬高浜

遺跡

ながせたかはまいせき

旧羽合町長瀬地区にある全国でも有数の規模を持つ古代の遺跡です。10mあまりも堆積した砂の下から、弥生時代から奈良時代にかけての竪穴住居址や掘立柱建物、井戸などが200棟以上、墓が合計300基以上、さらに日本最古といわれる弥生時代の菅玉をつくる工房跡や大型高床建物跡、埴輪群などが見つかっています。出土品の主なものは「湯梨浜町羽合歴史民俗資料館」に展示・保管されており、ここで発見された最大の古墳（1号墳）も近くに移築・復元されています。



北山古墳

きたやまこふん

野花地区にある山陰地方最大の前方後円墳で国指定の史跡。東郷湖を北に望む小高い丘陵に築かれています。規模は全長110m、前方部の長さ56m、後円部の直径70m、高さ12mという巨大なもの。内部構造や副葬品から判断すると、5世紀前半の古墳と考えられています。

東郷湖周辺には、上橋津にも山陰最大級の規模と考えられる馬ノ山古墳があり、すでにこのころ当地に相当有力な豪族がいたことを物語っています。

小浜の銅鐸

こはまのどうたつ

昭和8年(1933)に旧泊村小浜地区で、原野を開墾中、クワに当たって発見されたもの。弥生時代中期から後期にかけてのものと思われ、高さは約42cmで銅鐸としてはやや小型です。流水紋と呼ばれる美しい紋様を持ち、猿や亀、犬、鹿の姿が白をつく人とともに線刻されています。

銅鐸は中につるした舌(ぜつ)振子(びんこ)を振り鳴らして音を出す一種の楽器であると考えられていますが、この舌が2本あるのは小浜の銅鐸が全国でも唯一の例です。



大名行列

毎年10月中旬、泊地区瀬郷神社の秋祭りに行われる伝統行事。安永2年(1773)、鳥取藩舟番所の番士によって村民に伝えられたものといわれ、200年以上を経た今日まで継承されています。



浪人踊

天正7年(1579)、吉川元春ひきいる毛利勢との激戦に倒れた南条氏の将兵を供養するため始まった盆踊りで、400年経った今日まで受け継がれているもの。毎年、夏の水郷祭で披露されます。



橋津の藩倉

江戸時代、橋津には鳥取藩の藩倉(はんそう)が10数棟あり、米や物資の積み出し港としてにぎわいました。3棟残る橋津の藩倉は県内に現存する唯一のもので、街道筋には古い町家も点在し、往時をしのばせます。



ひょうたん



この地にゆかりの深い武将、吉川元春（毛利元就の次男で、山陰の覇権をめぐって羽柴秀吉と戦った）にちなむ民芸品。古くから知勇と開運をもたらす縁起物として親しまれています。

羽合町商工会 (0858) 35-3629



田後笠



田後地区で古くから作り続けられている手編みの菅笠。元は農閑期の冬の手仕事として始まったもので、500年以上の歴史と伝統を持つ民芸品として珍重されています。

羽合町商工会 (0858) 35-3629



日本酒



明治時代創業の老舗蔵元が造る湯梨浜町の地酒。清涼な伏流水と良質な酒米で醸し出したすっきりして飲み飽きない辛口の日本酒です。全国新酒鑑評会でも金賞をたびたび受賞しています。

福羅酒造(有) (0858) 32-2121



下駄



鳥取県の伝統工芸士に認定されている下駄職人が、作るこだわりの桐下駄。軽くてはきやすいのが特長で、丸下駄やジャンボ下駄、ミニ下駄など、種類も豊富です。

三津国履物店 (0858) 32-0953



醤油



明治時代から続く老舗の醤油屋が作る風味豊かな醤油。この土地の気候・風土が育んだふさとの味で、量販品とは一味違うコクと香りが自慢。とりわけ、日本海の海の幸との相性は抜群です。

中原醤油醸造場 (0858) 34-2035

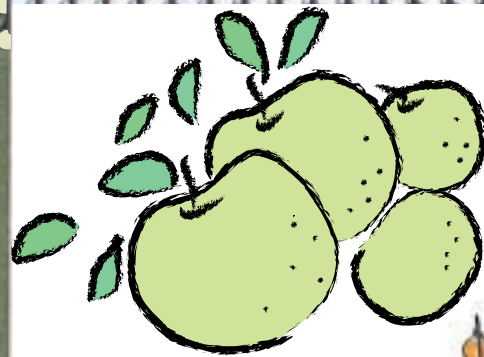


とまり漬

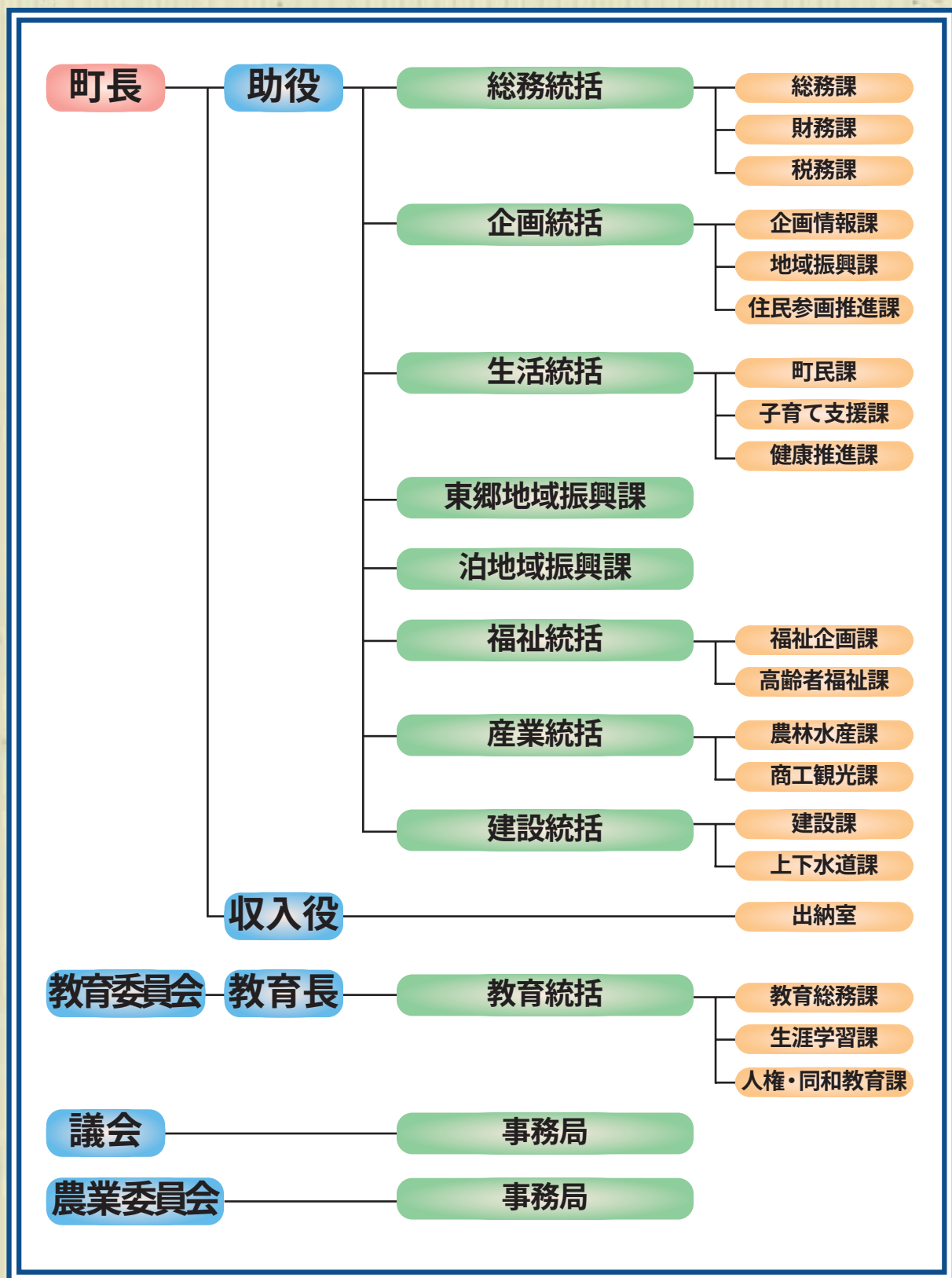


漬物専用の小玉スイカを使った醤油漬け。「源五兵衛西瓜(げんごべえすいか)とまり漬」の名で、全国にその名を知られています。あっさりした醤油味に、ほどよい酸味、ぱりとした歯ごたえがイケます。

レストハウス「とまり」(0858) 34-3288



行政機構図



CD

CD環境説明

推奨動作環境《Windowsフォーマット》

- 本体・PentiumIII800MHz以上（もしくはそれに準ずるCPU）
- システム・Windows98以上（XP推奨）
Windowsメディアプレーヤー7.0以上
- メモリ・64MB以上推奨
- ハードディスクの空き容量・100MB以上
- モニタ・800×600ピクセル《SVGA》以上
- CD-ROMドライブ・8倍以上（20倍以上推奨）
- サウンド・Windowsで動作するサウンドカード、または同等の機能が必要

！注意！

このディスクは「デジタルデータCD-ROM」です。オーディオプレーヤーでは絶対に再生しないでください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーなどに破損を生じる場合があります。



使用方法

- ① CD-ROMをお使いのマシンにセットします。
- ② 自動的にプログラムが起動し、オープニングムービーが始まります。（起動しない場合は、CDの中の「start.exe」をダブルクリックします。）
- ③ オープニングの後にメニュー画面が表示されますので、任意の項目を選んで内容を閲覧します。（画面上の「連続再生ボタン」を押すと、内容を連続再生で表示することもできます。）
- ④ 終了する場合は、各画面下部の「おわる」ボタンを押すとエンディングムービー再生後に終了します。

※ 他のアプリケーションが起動している場合など、マシンのメモリ不足等により動作が不安定になることもあります。その場合には一度全てのアプリケーションを終了させ、再度「start.exe」を開くと改善されることがあります。

・ Microsoft Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
・ その他記載されたシステム名・製品名・会社名は一般的に各社の商号、商標、登録商標です。



発行年月日/平成16年10月1日

発行/鳥取県東伯郡湯梨浜町

編集/湯梨浜町役場企画情報課

〒682-0723 鳥取県東伯郡湯梨浜町久留19-1

TEL 0858-35-3111 FAX 0858-35-3697

URL <http://www.yurihama.jp/>

制作/(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 中国支社